

刈谷市議会議員
なかしま

市制70周年+1

中嶋よしゆき

市政報告 Vol. 45

発行日：令和4年1月吉日

◇企画総務委員会 ◇都市計画審議会委員 ◇会派：市民クラブ
◇1986年 愛知大学卒 アイシン精機入社 '19/6～ 3期目

～ ご挨拶 ～

新型コロナウイルスが世界的なパンデミックとなって約2年が経過しました。ワクチン接種により、第5波も収束と思われていました。しかし、新たな「オミクロン株」により再び不透明な状況となり、3回目接種が加速されています。刈谷市も医療従事者から順次開始しています。そんな中ですが、地元経済も徐々に再開しました。飲食店のキャッシュレス還元や5千円のクーポン券配布などで、市もバックアップしています。安全・安心を前提に、元氣と活気が戻ってくれることを期待します。



刈谷駅イルミネーション



刈谷市は初めて人口減少に転じました。今回一般質問で取り上げ、コロナや子育て等の喫緊の課題に対応しながら、将来の種まき政策をポイントに訴求しました。自動車産業は100年に一度の大変革期と言われ、EV・PHV・FCV化の大きな転換が求められています。市の持続的成長に何が必要なのかしっかり考えて取組んでいきます。多くの市民が魅力を感じ、住み続けたい“まち”を目指します。皆様にとって笑顔あふれる年となりますようお祈り申し上げます。



令和3年12月定例会報告

【1】条例議案等（報告1件、同意1件、諮問1件、議案8件）

①刈谷市事務分掌条例の一部改正について

⇒情報システム関連で「電子計算機」を「情報政策」に改める
⇒ハードウェアから情報全般に対応。部署名の変更を検討

②刈谷市都市計画法に基づく開発行為等の許可に関する基準を定める条例の一部改正について

⇒災害リスク区域、無秩序な開発抑止などを目的

利用料金(円)

午前	午後	夜間	全日
9～12時	13～17時	18～21時	9～21時
370	500	370	1,150

③刈谷市公民館条例の一部改正について

⇒東刈谷公民館の大規模改修に伴う第2研修室の追加

④議員提出議案 ヤングケアラーへの支援充実についての意見書

⇒小学生や大学生を含めたより詳細な調査を行い、ヤングケアラーに寄り添った切れ目のない支援を検討すること
⇒ヤングケアラーの一層の社会的認知度向上を図る広報啓発活動の充実・強化 など

【2】補正予算議案(全8議案)

	単位(千円)	
	一般会計当初予算	補正額
	62,127,785	3,678,259
	補正後合計	
	65,806,044	

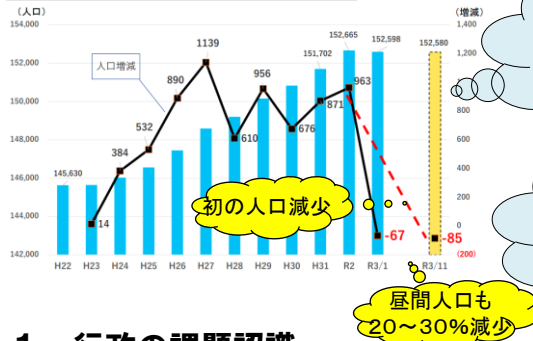
3回目接種も急がねば...



事業名	内容等	補正(千円)
1 子育て世帯への臨時特別給付金支給事業(新規)	対象：①令和3年9月分の児童手当受給者 ②令和3年9月末時点の高校生を養育し、児童手当受給相当所得者 ③令和3年10月～令和4年3月末に出生した新生児の児童手当受給者 金額：10万円/人 支給：児童手当受給者 令和3年12月 それ以外は申請に基づき順次支給(令和4年3月末に申請期限)	2,705,887 ※全額国庫支出金 継続的支援と貧困家庭の拡充が必要
2 公園施設設置事業(拡充)	熱中症予防など利用者に快適な環境創出のため、シェルターやベンチを設置 (1)グラウンド 日高公園、原崎公園、青山公園、狩野公園、金山運動場 (2)テニスコート 狩野、塩田	拡充 68,229 (総額101,729)
3 ICT教育授業(拡充)	普通教室：プロジェクター 特別教室：大型ディスプレイ(電子黒板機能付)	395,000 (総額 749,138)
4 中央図書館環境整備	2階特別閲覧室、読書振興室の個別ブース型デスクや書架の設置など	寄付 20,000

一般質問(刈谷市の持続的成長に向けて)

背景1. 人口の推移と前年比較



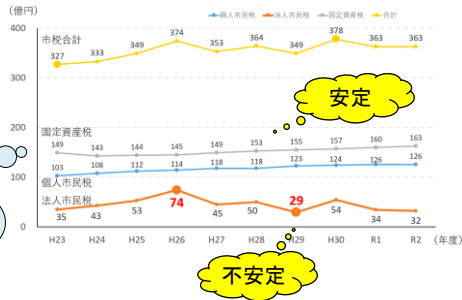
行政の課題認識は..

- ①初めての人口減少(前年比)
- ②コロナでテレワークの推進
- ③外出自粛など地域経済が疲弊
- ④自動車業界の大変革期

持続的成長のカギは..定住促進

- ①雇用を確保..企業と起業
- ②若者が魅力を感じる
- ③安全・安心・暮らしやすさ
- ④環境など取組みの先進市

背景2. 市税歳入の推移(主要税分)



1. 行政の課題認識

Q. 人口減少、産業構造の変化、カーボンニュートラルなど変化が大きい。行政の課題認識は？

A. 製造業の大きな転換期。適切な支援と新産業の育成が必要。企業や市民に選ばれる魅力的まちであり続ける努力をする事

Q. 特に中小企業の事業継続、雇用確保が課題。企業努力を促すとともに支援策の考え方は？

A. 合同企業説明会等への出展費用補助、企業と学校の意見交換、コンシェルジュの企業訪問などで課題を把握している

2. 行政に何が求められるか

Q. スマートシティなどの環境やエネルギーの先進的取組みの必要性を訴求してきたが？

A. 市の魅力向上につながると認識する。企業と協働して、スマートシティ化の推進体制づくりをすすめる

Q. コロナ対応を含め、市民ニーズは多様化している。その認識と対応についての考え方は？

A. グローバル化、ICTの進化、コロナ禍の生活変化など多様かつ急速な変化。一過性の流行に流されず見極めていく

3. 持続的成長と選ばれるまちづくり

Q. 刈谷独自のエコカー等の補助を実施している。カーボンニュートラルに向けさらに拡充する考えは？

A. 脱炭素化を進める中で、今後も補助制度のあり方等研究

Q. 水素エネルギー活用促進のための設備投資などの市の支援策が必要ではないか？

A. 国の補助制度があり、県も上乘せしている。水素の活用を含めた新たな環境投資の支援を研究する

Q. 新たな施策は、枠にとらわれない柔軟かつダイナミックな発想が必要。そういった環境づくりについての考え方は？

A. 若手職員中心のプロジェクトチームで行政課題の解決や「おしゃれなまちづくり」など自由発想を生かす取組みを実施

要望

市は安全安心なまちづくり、子育て支援など積極的に取り組んでいる。健全財政が維持できている今こそ、未来への積極的投資が必要と考える

- ①公用車の環境対応車導入や関連補助の拡充
- ②スマート化の街づくりに積極的な取組み
- ③依佐美工業団地に、本社やR&Dも誘致する 等

企画総務委員会で訴求(所管事務調査)

【交通安全】

Q. 高齢者の踏み間違い事故が多発。後付け安全装置の補助が今年度終了。現状を鑑み、継続・新たな施策が必要では？

A. 警察の取り組みとして、「実車技能」「サポカー限定免許」など創設する予定。警察と一体となって制度の普及/啓発に取り組む

要望

刈谷市内で通学中の児童を巻き込む事故が発生。危険箇所の洗い出しと優先順位付けで、早期改善に着手すること。また、高齢者向けの安全対策を追加検討する事

【公共施設の防犯】

Q. 電車内の放火など衝撃的な犯罪報道があった。模倣犯などを危惧するが、庁舎の防犯対策はどうか？

A. 警察OBの配置、庁内の巡視とさすまたや護身用の棒を各階に配備。毎年の防犯講習会や模擬訓練を実施

Q. 市民・職員の安全確保のため、さらに対策の強化が求められると考えるが所見を伺う

A. 庁舎1, 2階に防犯ブザー配備など充実の予定

歩行者等のスリップ転倒リスクを回避

【相談内容】通勤者が多くいる交差点で、雨天時などは側溝が滑りやすく大変危険な状況(鉄製蓋の問題)

【改善前】鉄製の側溝蓋



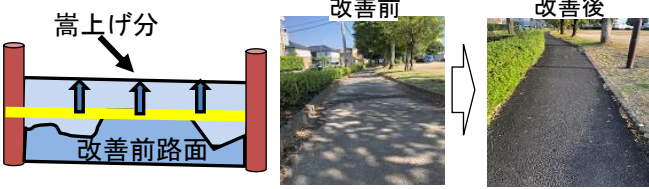
【改善後】暗渠式に改良し舗装



狩野公園歩経路の改善

【相談内容】凸凹で高齢者などがつまづく危険がある

※木の根上がりが主な原因。上塗りで嵩上げ舗装を実施。今回は改善スピードと廉価な方法を選択



参議院議員

※私は「はまぐち誠」を応援しています



〒448-0021 刈谷市八軒町2-75番地1
 ☎(0566)24-8831 Fax(0566)24-1675
 E-mail : nakaji@msp.aisin.co.jp
 公式HP: <http://www.giin-aiwu.com/nakajima/top/>